

議会 ながのはらまち だより

2021
OCTOBER
10
No.129

9月定例会の内容をお伝えします



表紙：浅間牧場



QRコードから議会
だよりをダウンロード
できます

9月定例会で こんなことが決まりました

○9月定例会（会期9/3－16）

行政報告	…………	1件	補正予算	…………	5件
人事案件	…………	1件	決算認定	…………	11件
町道路線認定・廃止	…………	2件	その他	…………	2件
条例制定・改正	…………	4件			

主なものを当誌より掲載します。 合計 …………… **26件**

町過疎計画議決される

今年度から過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の指定を受けたことに伴い、各種支援事業を実施するために長野原町過疎地域持続的発展計画を策定しました。この計画は、過疎対策のために国や県の支援を受けて実施する事業についての方向性や個別事業について記載されています。

■過疎地域の要件

種類	指標	期間	基準値	長野原町
人口要件	若年者比率	平成27年	人口減少団体平均（11%以下）	10.9%
	人口減少率	昭和50年→平成27年	23%以上減少	23.0%
財政力要件	財政力指数	平成29年→令和元年	全市町村平均（0.51以下）	0.45

※若年者比率とは、総人口に占める15～29歳人口の比率です。

※財政力指数とは、その団体が標準的な行政を行う場合に必要な一般財源額（基準財政需要額）のうち、どの程度地方税等の収入（基準財政収入額）でまかなえるかを示したものです。

町過疎計画の概要

地域の持続的発展の基本方針

長野原町における、地域の持続的発展の基本方針は、「明るく活力ある長野原町」を掲げた第5次長野原町総合計画に基づき、SDGsも推進しながら、以下のように進めます。

ア、経済の活性化や雇用の確保

- 農業の六次産業化、ブランド化の支援
- 町内連携と自然環境の活用等により付加価値の創出した観光振興



イ、人材育成

「まちづくりを自分事として考え行動できる人材」の育成

ウ、子育て・医療・福祉サービスの充実

- 育児環境・体制の整備等による子どもの成長支援と、女性の社会進出の推進
- 予防接種や検診等の充実による医療費の抑制
- 交通事業者との連携による高齢者等の医療受診の環境整備
- 高齢者、障がい者等のための「活躍の場」の整備と暮らしの支援
- 誰もが安心して健やかに生活できる町づくり

エ、暮らしやすく衛生的な住環境整備

- 上下水道の整備と適切な維持管理
- 道路施設の整備と適切な維持管理
- 空き家の利活用と適切な管理や除却の推進



オ、災害に強く安心して生活できる町の形成

- 「長野原町国土強靱化地域計画」の策定による防災、減災への取り組み
- 警察、消防との連携強化と、住民による自主防災活動の推進による安心安全な町づくり

カ、地域住民の主体性を重視した共同の地域づくり

- 住民主体の活動の支援
- 官民協働によるまちづくりの推進



長野原町の過疎指定について

長野原町は、令和3年4月の法律改正により過疎地域に指定されました。

過疎地域の指定期間は令和3年4月1日から令和14年3月31日までの10年間です。

この過疎計画は、指定期間の内、前半部分となる令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間となります。

一般会計

コロナ感染対策
等を実施

令和3年度一般及び3特別会計補正予算を全員一致で可決しました。今回の一般会計補正予算では、1億543万円の追加補正を行うもので、主に新型コロナウイルス感染症の感染対策及び経済対策を実施するものです。

一般会計補正額一覧（千円以下切捨）

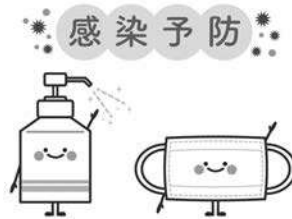
■ 9月定例会（9/3・16）
一般会計補正予算（第3・4号）
1億543万円（計43億4,234万円）

■表 特別会計補正予算一覧（9月定例会）

特別会計	補正額	補正後総額
へき地診療所	158万円	9,512万円
簡易水道事業	500万円	1億4,987万円
介護保険	1,505万円	6億8,367万円

（千円以下切捨）

[主な補正内容]



487万円

新型コロナウイルス子ども感染予防対策支援事業

中学生以下に感染予防対策品等の購入費として、一人1万円を支給する。



510万円

ストップコロナ! 対策認定店支援事業

群馬県が実施するストップコロナ!対策認定制度の認定事業所に対策費用として5万円/事業所を支給する。



150万円

新型コロナウイルス感染症に伴うインフルエンザ予防接種一部費用補助事業

今までの助成に追加して高校生以上64歳以下の方が実施したインフルエンザ予防接種費用について3,000円を助成する。



5,100万円

道路維持事業

陳情等への対応のため道路舗装、道路側溝蓋設置等の工事を施工する。

質疑応答

支援金支給は現金か

問 大羽賀議員 新型コロナウイルス子ども感染予防対策支援金事業のマスク等購入資金1万円は現物支給ではなく現金支給か。

現金で支給

答 町民生活課長 マスク以外にも消毒液など色々なものに活用していただければと考え、支援金として1万円を現金で支給することを決めた。

不織布マスク購入指導は

問 大羽賀議員 未成年者の感染が多いこと

から予防効果が高いとされる不織布マスクの購入が一番良いが、きちんと指導していただけるのか。

答 町民生活課長 町でも広報誌等で周知しても、不織布マスクを推奨していきたいと考えている。今回の1万円支給と合わせて不織布マスク推奨も広報誌に掲載していきたい。

■ 9 月定例会で可決した議案一覧

議案番号		議案名	内 容	関連
報 告	1号	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告	令和2年度決算における当該比率について報告するもの	7
	1号	教育委員会委員の任命同意	当委員の任期満了に伴う1名について任命の同意をするもの	11
発 議	1号	意見書の提出 (コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書)	意見書を法第99条の規定により国会、関係行政庁に提出するもの	12
	1号	過疎地域持続的発展計画	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法による指定に伴い計画を策定するもの	2—3
議 案	2号	町道路線認定について(町道2-22号線他1路線)	八ッ場ダム建設工事で国県道及び町道整備の完了に伴い、群馬県と相互移管するもの	11
	3号	町道路線廃止について(町道川原湯温泉幹線街路他1路線)		
	4号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	休日業務に従事した診療所医師に支給する特殊勤務手当の金額を変更するもの	—
	5号	福祉医療費の支給に関する条例の一部改正	税制改正等による文言を整理するもの	—
	6号	税条例の一部改正	地方税法等の改正に伴い改正するもの	—
	7号	過疎対策のための固定資産税の課税の特例に関する条例制定	過疎対策のための固定資産税の課税特例を定めるもの	11
	8号 12号	一般会計・3特別会計補正予算	令和3年度一般会計予算やへき地診療所、簡易水道事業、介護保険特別会計を補正するもの	4
認 定	1号 11号	令和2年度一般会計・10特別会計決算認定	令和2年度一般・各特別会計を決算認定するもの	6—9

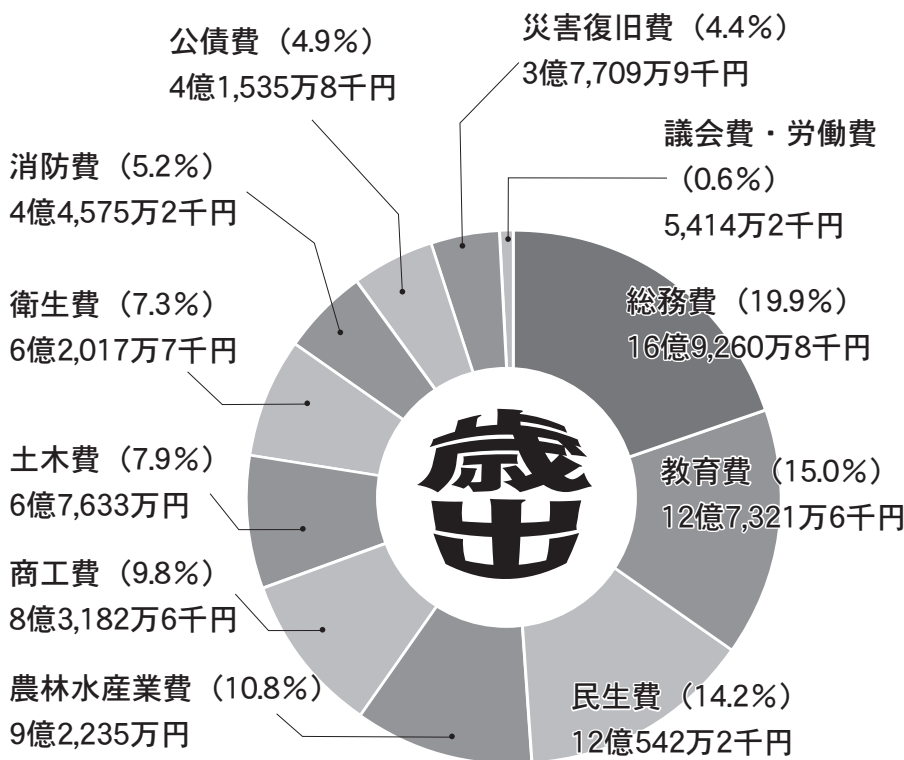
歳出 85億1,428万8千円

令和2年度一般会計を認定

令和2年度一般会計決算を全員一致で認定しました。当年度の歳入は、92億5,559万3千円（前年度比37.8%減）、歳出は、85億1,428万8千円（前年度比

40.6%減）で歳入歳出差引残額は7億4,130万4千円（繰越明許費・事故繰越しを含む）となりました。主な要因は、防災行政無線デジタル化事業やダム関連事業

完了に伴う減によるもの
です。
今後は、新型コロナウイルス感染症に伴う徴収猶予措置の影響により税収は依然として厳しい状況の中、引き続き財政健全化に努力する必要があります。



※総額または構成比は、総計と項目累計で合わないことがあります。
※全て千円未満切り捨てで掲載しています。

一般会計決算

質疑応答

問 経常収支比率の捉え方は

答 星河議員 経常収支比率についてはどのように捉えて、どのような方向性で進んでいくのか。

問 バランスを見ながら事業を実施

答 総務課長 地方交付税の増額に伴い昨年度と比較して1%減少。今後、庁舎建設や防災行政無線デジタル化の起債償還が始まる。経常経費のバランスを見ながら、事業を実施していく。

問 補助費等の増額理由は

答 牧山議員 昨年度と比べ、補助費等が10億円増加しているが、何が影響しているのか。

問 コロナ対策・農業振興など

答 総務課長 定額給付金5億4千万円、畜産クラスター事業2億7千万円、商品券1億円を補助費等として計上している。

問 旧狩宿茶屋本陣事業の進捗状況は

答 大羽賀議員 旧狩宿茶屋本陣の整備事業についてどのように進められているのか。

問 新宅の解体、トレンチ調査等を実施

答 教育課長 平成31年度から7年計画で整備する。令和2年度は新宅の解体、トレンチ調査、保存活用計画の立案、基本設計の策定をした。

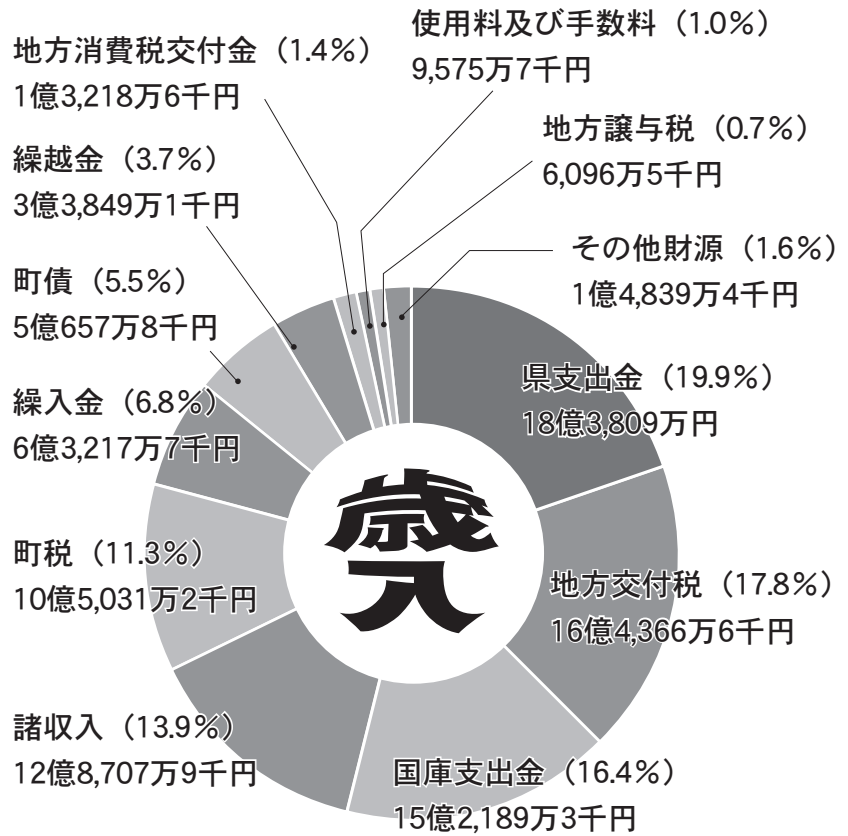
実質収支 (歳入歳出差引額-翌年度繰越額)
3億9,370万3千円 ※単年度歳入歳出の実質的差額。地方公共団体の余剰金または純損失を表す。

単年度収支 (実質収支-前年度実質収支)
△2,636万4千円 ※単年度の純粋な収支を表す。

実質単年度収支 (単年度収支+実質黒字要素-実質赤字要素)
△2億3,951万4千円 ※単年度収支に黒字要素（積立金・繰上償還）や赤字要素（積立金取り崩し）を加減したもので、実質的な収支を把握するもの。

経常収支比率
91.4% ※地方公共団体の弾力性を表す指標。経常的経費に経常一般財源収入がどの程度充当されているかをみるもの。

歳入 92億5,559万3千円



財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告

令和2年度における財政健全化判断比率について表のとおり報告がありました。なお資金不足比率については、各事業・特別会計に資金の不足がないため掲載していません。財政は当面健全です。

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
—% (15.0)	—% (20.0)	10.1% (25.0)	—% (350.0)

※数値が無い場合「—」を記載 ※（ ）内は早期健全化基準

- 実質赤字比率** 一般会計などの赤字の程度を表し、財政運営における悪化の度合いを示す指標。
- 連結実質赤字比率** 全会計における赤字と黒字を合算し、町で生じている赤字の程度を示す指標。
- 実質公債費比率** 借入金の返済額の大きさを3ヶ年平均で算出し、資金繰りの程度を示す指標。
- 将来負担比率** 翌年度以降に負担する（見込まれる）債務の大きさを示す指標。
- 資金不足比率** 公営企業会計で営業収益に対する手持ちの資金の不足額を示したものの。



財政健全化判断比率とは？
⇒地方公共団体の財政状況を客観的に表した4指標のこと。

町 令和2年度 の主な事業

令和2年度の主な事業を一部紹介します。

一般会計決算は八ッ場ダムの本體工事が完成を迎え、延伸となった観光振興施設をはじめとする生活再建や地域振興事業、新型コロナウイルス感染症の感染及び経済対策を実施しました。



①地域活性化商品券事業

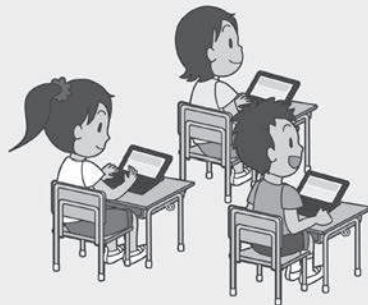
(事業費:1億1,210万円)

新型コロナウイルス感染症の経済への対策として、家計及び町内事業者へ支援を実施しました。

②ICT教育環境整備事業

(事業費:5,879万円)

児童生徒1人に1台のタブレット端末と高速大容量のネットワークを整備しました。



③東京2020聖火リレー

(事業費:436万円)

令和3年3月31日、群馬県2日目の第5区間として聖火リレーが実施されました。



④浅間ジオパーク関連

(事業費:540万円)

浅間山北麓ジオパーク活動を活発に推進し、日本ジオパークとして再認定されました。

⑤防災行政無線デジタル化整備事業

(事業費:2億4,693万円)

令和4年11月にアナログ電波が廃止されるため、防災行政無線をデジタル化に整備しました。



⑥テニスコート整備事業

(事業費:7,207万円)

総合運動場のテニスコートをクレイ舗装から全面オムニコートに整備しました。

暮らしに関わる会計チェック

令和2年度の特別会計決算を全員一致で認定しました。各特別会計は福祉や地域医療、水道事業など暮らしに直結した事業を実施するための会計となっています。このため、住民の負担軽減や健全財政維持を目的に10会計中9会計が一般会計からの繰り入れを受けています。

当年度の特別会計決算における概要は表のとおりです。

令和2年度特別会計決算概要

特別会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引	一般会計繰入金
国民健康保険	7億1,030万6千円	6億4,038万3千円	6,992万3千円	4,531万1千円
へき地診療所	9,632万2千円	8,627万3千円	1,004万9千円	1,600万円
簡易水道事業	1億8,868万8千円	1億5,830万5千円	3,038万2千円	6,226万7千円
農業集落排水事業	1億505万5千円	9,470万9千円	1,034万5千円	7,843万9千円
公共下水道事業	3億5,836万4千円	3億3,806万8千円	2,029万6千円	1億9,780万7千円
介護保険	6億3,655万3千円	5億7,944万6千円	5,710万7千円	8,596万1千円
生活再建支援事業	0円	0円	0円	0円
後期高齢者医療	9,980万8千円	9,410万5千円	570万2千円	2,048万7千円
浄化槽整備事業	576万5千円	489万3千円	87万1千円	239万円
浅間園事業	1,773万9千円	1,773万9千円	0円	537万6千円

※千円未満切捨

町の基金(貯金)はいくら?

基金は町が特定の目的をもって設置する資金や財産のことです。令和2年度末現在における主な基金状況は下表のとおりとなっています。

■主な基金状況(令和2年度末現在)

基金名	増減	残高
財政調整基金	685万円	26億2,412万9千円
多目的基金	4,063万1千円	1億4,689万3千円
減債基金	△8,008万1千円	6億7,979万円
八ッ場ダム周辺整備事業施設管理基金	2億4,173万7千円	22億5,269万8千円
ふるさと応援基金	△715万3千円	1億1,851万2千円

各会計決算質疑

浅間火山博物館の
今後は

問

浅沼議員 浅間火山博物館の今後の維持管理について、どのように考えているのか。

総合的に検討し
進める

答

企画政策課長 町有施設の利活用について検討会議が行われている。維持するのにも、取り壊すにもお金が

かかるので、総合的に検討し町にとって有意義に使えるよう進めていく。
給付費減少の要因は

問

牧山議員 国民健康保険の給付費減少の要因はなにか。

コロナによる受診控え

答

町民生活課長 国民健康保険特別会計の給付費の減少はコロナの受診控えが大きい。

産業建設常任委員会

斜面崩壊の安全対策工事

関係機関へ要望

請願・陳情

9月3日（金）開催の9月定例会初日に2件の陳情が各常任委員会へ付託され、同日に審議を行いました。

総務文教常任委員会

吾妻地区平和行進実行委員会より提出のあった陳情（受理番号10号）は、過去にも類似した陳情があり、今回の陳情に対しても核兵器禁止条約の関係から各委員より慎重な意見が出され趣旨採択となりました。



受理番号11号

産業建設常任委員会

羽根尾区より提出のあった陳情（受理番号11号）については関係機関へ要望することとしました。

各常任委員会の審議結果については次のとおりです。

■表1 請願・陳情の審査結果一覧（総務文教常任委員会付託分）

受理番号	提出者	内容	結果
10号	吾妻地区平和行進 実行委員会 代表 真砂洋治	日本政府に核兵器禁止条約へ署名・批准を求める陳情	趣旨採択

■表2 請願・陳情の審査結果一覧（産業建設常任委員会付託分）

受理番号	提出者	内容	結果
11号	羽根尾区長 山口輝二	赤川沢隣の沢上流部脇斜面崩壊の安全対策工事について陳情	採択 (関係機関へ要望)

の現地調査を行い、復旧工事が無事に完了していることを確認しました。今年度中には全ての復旧工事が完了する予定です。



町道9-9号線 アテ口地内

令和3年8月5日産業建設常任委員会は陳情の現地調査及び令和元年度の台風19号の災害復旧状況を調査しました。

陳情に関する現地調査は、令和2年9月定例会で趣旨採択（調査後対応）されておりました町道古森与喜屋線の交通事故防止対策について、現地を確認しながら、一番問題となる歩行者の人命確保を最優先に検討を行い、より早期に対応が可能な道路両側にガードレールを設置した歩道を確保する方法により進めることと判断しました。

また、台風19号による災害復旧現場は、大きな災害となった応募アテ口、洪沢地内の現地調査を行

委員会報告

産業建設常任委員会
陳情及び災害復旧
状況を調査

趣旨採択とは？

⇒願意は妥当であるが、実現性の面で確信が持てないといった場合に、不採択とすることもできないとして採られる決定方法。

任命同意

教育委員の任命

教育委員会委員として2期8年にわたり活躍された豊田登代彦氏は、任期満了を迎え今限りで退任となり、後任には吉崎一紀氏を任命することに同意しました。



条例制定

過疎対策のための固定資産税課税免除

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の指定を受けたことに伴い、過疎地域持続的発展計画に記載された産業振興促進区域は町全体が対象となります。同計画に振興すべき業種に対する固定資産税の課税免除を、最初に課税免除を行った年度から3年間実施するために条例を制定しました。

■対象事業及び法人の規模に応じた固定資産の取得価格

対象業種	資本金額		
	5,000万円以下(個人を含む)	5,000万円超1億円以下	1億円超
製造業 旅館業	500万円以上	1,000万円以上※	2,000万円以上※
農林水産物等販売業 情報サービス業等	500万円以上	500万円以上※	

※資本金額等の規模が5,000万円超の事業者については、新增設に係る取得費等に限る。

町道認定・廃止

町道2路線認定、2路線廃止

八ツ場ダム建設事業で国県道及び町道整備の完了に伴い道路維持管理費と交通量を考慮し、町道2路線を群馬県へ、群馬

県の管理する道路2路線を長野原町へ相互移管するため、町道の認定及び廃止を行いました。

■認定した町道路線一覧

路線名	起点番地	終点番地	延長	幅員
町道2-22号線	大字川原湯字 金花山454-10	大字川原湯字 金花山454-4	502.40m	14.50~ 24.50m
町道3-17号線	大字横壁字 西久保86-1	大字横壁字 西久保97-3	164.80m	5.00~ 20.60m

■廃止した町道路線一覧

路線名	起点番地	終点番地	延長	幅員
町道川原湯温泉 幹線街路	大字川原湯字 金花山558	大字川原湯字 下打越477-1	1713.00m	11.30~ 50.30m
町道長野原線	大字長野原字 東貝瀬898-1	大字長野原字 嶋木255-1	751.74m	7.00~ 13.35m

発議

地方税財源の充実を求め 地方交付税の確保を要望



コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染拡大は、変異株の猛威も加わり、各方面に甚大な経済的、社会的影響を及ぼしており、生活への不安が続いている。地域の実情に応じた行政サービスを持続的に提供していくためには、地方交付税等の一般財源総額の確保、充実を強く国に求めるもので、全員賛成で可決し、関係機関に意見書を提出した。

意見書の主な内容

- ・令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、十分な総額を確保すること。
- ・固定資産税の根幹を揺るがす制度見直しや特例措置は行わないこと。
- ・自動車税・軽自動車税の環境性能割の延長は行わないこと。
- ・炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

議会傍聴のご案内

あなたも議会を傍聴しませんか？

議会定例会や臨時会の様子はどなたでも傍聴できます。（本会議前に開催される全員協議会も傍聴可能となりました。）傍聴される際は議会開催日に議場までお越しいただき、受付票に必須事項を記入、受付箱に投函して傍聴をお願い致します。なお、開会時間は開催日により異なり「くらしのカレンダー」などで掲載している日程も変更となる場合があります。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、手指消毒、検温、傍聴人数の制限の協力をお願いしております。

また、平熱を上回る発熱のある方、体調のすぐれない方、せき、くしゃみの症状のある方には、傍聴をご遠慮いただいております。ご不明な点は、長野原町議会事務局（☎0279-82-3019）までお問合せください。

次回定例会は…

令和3年12月

2日（木）

9日（木）

16日（木）

YouTubeで議会の様子を録画配信中！

令和2年12月以降の定例会一般質問の様子をインターネット配信しています。

視聴方法

○長野原町役場ホームページのトップページから「長野原町議会」⇒「動画配信」
(<https://www.town.naganohara.gunma.jp/www/index.html>)



視聴はこちらから

議会全員協議会の内容を紹介します

9月定例会で行われた議会全員協議会の主な内容は下記のとおりです。

報告事項

●ハッ場ダム関係記念イベントの中止について

10月の開催を目指して準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み今年度中は開催中止と説明がありました。質問は中止の決定に住民の意見が反映されているのかなどについて行われました。



●西吾妻福祉病院の経過について

西吾妻福祉病院の外来及び病床数等の利用状況について報告がありました。質問は、救急の維持や人材確保等について行われました。

●新型コロナウイルス感染症に対する対応について

ワクチン接種の集団接種の状況や集団接種終了後の対応や新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事等の中止及び延期について説明を受けました。

●各地域振興施設の運営状況について

全ての施設の運営状況、また、新型コロナウイルスの影響により厳しい経営状況となっている報告を受けました。質問は今後運営状況をどのように評価し、改善していくのか等について行われました。

宝くじ公式サイトでも宝くじを購入できます!!

特典1 たまる!つかえる!宝くじポイント

宝くじの購入で100円につき1ポイントの宝くじポイントが獲得できる!

宝くじ公式サイトや宝くじ売場で1ポイント1円としてつかえる!

特典2 購入～受取までネットで完結!

24時間いつでも宝くじの購入可能! 抽せん結果も宝くじ公式サイトで確認!

当せん金は、登録した受取口座に自動でお振り込みするので、とっても便利!

特典3 宝くじ会員限定のキャンペーンに参加できる!

他にもお得な特典や便利なサービスいろいろ!
今すぐ会員登録!!



本件に関するお問い合わせ先 | 宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) TEL 011-330-0777 (有料)
受付時間 10:30~18:30 (土・日・祝日、年末年始を除く) ※電話番号を十分ご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

ここが知りたい!

一般質問

質問者	質問内容	ページ
星河 明彦 議員	行政サービスの見える化と人口減少時代のサービスの在り方について	15
萩原 宗仁 議員	浅間山登山道について	16
浅沼 克行 議員	学校統合による廃校の利活用について	17
牧山 明 議員	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者の支援体制について 感染予防に向け不織布マスクの推奨と配付について	18
大羽賀 進 議員	コロナ対策について	19

※紙面の都合により要約・省略などの編集を行っておりますのでご了承ください。

ここが知りたい!
一般質問



ほしかわ あきひこ
星河 明彦 議員

行政サービスの見える化と人口減少時代のサービスの在り方について

生涯支援年表の作成、 行財政改革・組織運営 取り組み

問 人生のライフイベント時にどのような支援制度があるのかわかりにくい。知らないを解消するために、東吾妻町が作成した生涯支援年表を作成してはどうか。

また、担税力のある住民が減り、税収が減少する一方、高齢者の社会保障支出が増加し、地域の行政サービス需要の増加が見込まれる。町の経常収支比率は、ここ数年連続で90%を超え、行政需要に対応する弾力性がなくなっていることが懸念される。持続可能な行政サービス提供に、どのような施策を行っていかか。

答 町長 ご指摘の通り分りづらい。改善のため、東吾妻町の生涯支援年表を参考に検討していきたい。

また、本格的な人口減

少社会を迎え、社会保障関係経費や公共施設等の老朽化対策経費が見込まれる。更に、新型コロナウイルスの影響は未知数である中、持続可能な自治体運営が求められている。今後限られた資源を有効に活用し、最少の経費で最大の効果が挙げられるよう、職員一人ひとりが町民目線に立ち、行政サービスの必要性とあり方を再点検し、行財政改革並びに組織運営に取り組んでいきたい。



問 年表を活用することで年代別や事業別に行政サービスの見直しができる。行き届いたサービスには費用がかか

り、どこまで支援し、何に重点を置くか検討することにも活用できる。町の経費が一目でわかるコスト集を作ってはどうか。私たちの生活にかかる経費が分かれば、納税意欲向上にも繋がる。移住定住に関して、日本人の総人口は決まっている。難民を受け入れる体制作りをしてはどうか。その中で文化の違いなどを理解してもらったためのパンフレット作成を提案する。

答 町長 つなカンの中でもゴミの出し方など町のルールがわからない移住者や町民が多いので、くらしのハンドブックを作成してはどうかという声が上がっている。良い機会なので行政と町民が共に作り上げていけたら素晴らしいと思う。

人口減少の克服をあきらめてはいけないし、移住促進の施策も更に実行していきたい。ただ、人口が2倍になったから、財政も2倍ゆとりがあるということではない。な

ぜならば全国のほとんどの自治体が、地方交付税交付金に頼り、財政を成り立たせている。今後町の税収は増えていく予定だが、税収が増えたと、国からの交付金は減らさる。議員から難民という話があったが、私は、町を愛し、純粹に町に住みたいと願う移住者を増やしていきたい。

経常収支比率に関しても、率が低ければ柔軟な行政サービスを実行できる。ただ、地方自治体の財政のしくみを考えると、単に率を下げることも、町民の幸せにつながるものではないと思う。限られた財源で、どこにお金をかけ、どこのコストを下げるか？バランスを考え町政を運営することが重要である。どんなに人口が減少しても、この町で、どうしたらいきいきと生活していくことができるかを考え、町づくりを自分ごととして捉え、行動できる、人間を育てていくことが大きなポイントである。



浅間山登山道の構想は



はぎわら 萩原 宗仁 議員

浅間山を堪能してもらえよう 登山道を整備

問 コロナ禍においてアウトドア産業、

免疫力アップ等で有酸素運動等ハイキング人口増加が叫ばれているが、長野原町にも日本で有名な浅間山がある。高山植物や広大な自然を眺めながらの登山道ができれば今まで以上に長野原町に観光目的で来ていただける方々が増えると思う。浅間山登山道において専門家に依頼し調査をスタートさせると町長施政方針にあげておりますが、専門家の人選、環境省認可と大変な問題があると思うが、今現在町長が思い描く具体的な構想について伺いたい。

答 町長 浅間山の北側登山道につきま

しては浅間山北麓ジオパーク活動の中で、嬭恋村と共同で環境省や森林管理署等関係機関と協議調整を図り、登山者の安全計画のとりまとめ作業を進めながら、登山道開設を目指している。

具体的な登山道については、浅間山北麓ジオセンターから一部スカイロケットレイルを経由し鬼押し熔岩地帯を超えて、嬭恋村しゃくなげ園からの登山道と合流し、湯の平へ登っていくコースである。

開通後は、浅間山北麓ジオセンターを起点に自然遊歩道、スカイロケットレイル、浅間山

登山と、入山される方それぞれの体力、ニーズに合わせて、浅間山を堪能してもらえよう登山道を整備したいと考えている。



問 浅間山登山道の安心安全対策について伺いたい。町には繋がっていない林道があり、北軽井沢から八ツ場までを繋げたり、町が発展するために色々な方法があると思う。町長のリーダーシップをお願いしたい。

その安全対策の担保をどう確保していくことができるかが重要なポイントである。ようやく専門家を通じて安全対策の計画を作り始めたところである。

浅間山の登山道、浅間牧場の遊歩道、スカイロケットレイルの開設等を行政で行ったとしても、それ以上にそれらを使って盛り上げるためには民間の力が必要。町内で完結しなくても広い範囲で手をつないでやっていくこと、自分たちで何とかしようとする思い、ビジネスに繋げていこうというアイデア、それらを結集する力が必要、湖の駅の力も貸していただいて、他の施設と連携し良い方向に持って行けたら良いと思っています。

答 町長 浅間山は活火山であるため、



ここが知りたい！
一般質問



あさぬま 浅沼 かつゆき 克行 議員

学校統合による廃校の利活用について

利活用の方策を慎重に検討していく

問

関係者皆様のご協力が決まり、本年度は第一小学校と中央小学校、再来年度は西中学校と東中学校、そしてその翌年度には北軽井沢小学校と応桑小学校と統合が続いている。その中で第一小学校、応桑小学校、北軽井沢小学校の校舎が廃校となる。町の財産である学校をより効果的に利活用していく必要が早急に求められていると思うが、どう考えているか。

答

町長 町の財産である学校の有効活用は、まちづくりの方向性と整合性を図りつつ、利便性や地域特性について、多角的な評価を行い、

防災機能としての確保が必要な施設や地域コミュニティとの関わりを精査し、町有施設の集約化により財政負担軽減が見込まれる場合は、公共目的で利用するスペース等を整理した上で、民間活力の導入など、幅広い可能性も視野に利活用の方策を慎重に検討していく。

問

空き校舎は喫緊の課題であるが、具体的な話しが出てこなかった。空き校舎を残していくということは、今後も維持管理費がずっとかかっている。これは、全国的な問題であり文部科学省が主体となる廃校プロジェクトがある。立地を利用しての民活、介

護、福祉が必要な時代になってくると思うので、そういった施設を併設していくのも良い。体育館については防災の基地として、地域のスポーツの中心地として利用できる。町長の人脈も活かし、あらゆる手段を使って今後の空き校舎利用、有効活用を一步でも二歩でも進めてもらいたい。

答

町長 今年度の施政方針の中でも町としての方向性を示していかねければならないと書いているが、未利用や老朽化した町有施設について町有施設利活用会議を開催し、関係職員が議論をしている。ただ、学校というのは地域に密着したところなので、地域住民を置き去りにしていくわけにはいかない。

(町民の皆さんともコンセンサスをとっていく必要がある。) 民間で活用

してくれたら素晴らしいことだと思い、7件ほどの業者に声をかけた。その中で、ある学校法人から良い計画をいただき、実行できるかどうか話を継続している。空き校舎は全国どこにでもあり、利活用には難しい不動産ではあることは事実である。町のトップセールスマンは私であるが、議員の皆さんも同じ営業マンだと思う。企業の紹介やアイデアなど議員の皆さんの協力をいただきたい。





①新型コロナウイルス感染症の 自宅療養者の支援体制は ②不織布マスクの推奨と配付に ついて

①入院及びホテル療養で調整 ②推奨及び配付を実施する

問

①新型コロナウイルス感染症の感染に歯止めがかからず、医療体制の逼迫から自宅療養を余儀なくされている町民の中に自宅療養者が出た時どのような支援ができるのか、支援体制はどうなっているのか具体的に伺いたい。

答

②今までの検証からウレタンや布製に比べ、不織布マスクの予防効果が高いことが分かっている。町として不織布マスクの使用を推奨し、先の生理用品と同様に貧困家庭には無償で配布をすべきと思うがどうか。

答

町長 ①新型コロナウイルス感染症の患者療養については、

群馬県より新たな方針が示され、症状で重症化リスクが少ない方や一人暮らし等で家庭内感染のリスクがない場合には自宅療養となった。安心して自宅療養をしていただくために群馬県で健康観察センターが新設され、健康観察、療養相談、生活支援等の自宅療養者のフォローを行っている。

また、町及び吾妻保健所管内で現在までに自宅療養者は存在していない。今後も患者全員が入院またはホテル療養できるよう調整していく。もし仮に自宅療養が発生した場合には、保健所と連携を図り安心して自宅療養できるよう支援していく。

②不織布マスクは、ウレ

タンマスクより効果があるとして県で推奨をしている。町でも不織布マスクを推奨するとともに、生活困窮者に対して生理用品と合わせて不織布マスクの配布も実施していく。



問

①自宅療養者が吾妻管内から出ていないということだが、家族の全員が宿泊先で面倒をみていただけない場合もある。町として自宅療養者が出た時にどのようなサービスが提供できるのか説明してほしい。

②群馬県が推奨している「ぐんますく」をSDGs、県内の地元産業を支えていくという観点から使って行ければと思うがいかがか。

町長 ①町の感染者から自宅療養者が出さないというところが根底にある。万が一自宅療養者がでた場合には、今でも濃厚接触者に対して行っている買い物支援、パルスオキシメーターの貸し出し、生活必需品の提供体制を確保する。コロナに関しては災害と

答

町長 ①町の感染者から自宅療養者が出さないというところが根底にある。万が一自宅療養者がでた場合には、今でも濃厚接触者に対して行っている買い物支援、パルスオキシメーターの貸し出し、生活必需品の提供体制を確保する。コロナに関しては災害と

ここが知りたい！
一般質問



おおはがすすむ
大羽賀進 議員

未成年コロナ対策について

感染拡大防止に向け 事業を実施する

問

感染者数の急増に伴い未成年者の感染も増えている。今感染の進行は第5波であり、変異ウイルス大流行で多数の感染者を出している。そして次の第6波はこれまで感染しにくかった人や地域への感染拡大が進むとのことである。変異ウイルスの状況として、特に今まで感染しにくかった未成年者に注意喚起が必要である。本町の対策を伺いたい。

答

町長 全国的に若年層の感染者が増加し、家庭内から子供への感染が多く確認されている。町の15歳から19歳へのワクチン接種率は比較的高く83%を超えている

が、12歳から14歳については71%であり、町全体から見ると若干低い状況となっている。ワクチン接種の対象とならない12歳未満の子供に対し対策を講じていく必要がある。小中こども園に通う子どもたちに家庭内感染防止のため手指消毒液を配付した。またワクチン接種の周知では金子先生よりワクチン接種の必要性等のコメントを掲載したチラシを配布し、若年層の接種率向上を目指している。さらに交付金を活用してマスク等の感染予防対策品購入費として中学生以下の子供に対し、一人1万円を支給することとした。今後とも新型コロナウイルス対策について

では、町民の安心安全を確保するため感染拡大防止に向けて事業実施していく。



問

若い世代においては、ワクチン接種に後ろ向きな人が結構いるということ、そういう人たちに対して受けさせる方法を考えていただきたい。また12歳未満の子どもは接種が受けられないので、学校、保育所の感染対策についても伺いたい。

答

町長 ワクチンの情報をしっかり伝えていくことが大事。ただ接種をしたことによる油断もでてくるので、我々も自覚した行動をし

なければならない。また、部活の大会が中止になったり、色々な学校行事が延期になっていくことを考えると、子ども達の心のケアも重要である。

教育長 管内学校、園での新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対応について、新しい生活様式に合わせて、児童生徒たちが理解し、工夫しながら納得のいく形で進めている。運動会、修学旅行は10月以降に延期、不要不急の外出は自粛、検温、マスク、手洗い、消毒、感染の徹底等を指導している。また学校閉鎖等がある場合には学習に著しい遅れが生じないように、可能な限りICTを活用し学びを継続していく。心のケアについては、児童生徒及び保護者が抱える不安や悩みに寄り添った対応をしていく。

新型コロナウイルス感染症はいまだ終息は見通せませんが、第五波は感染者も減り19都道府県に出されていた緊急事態宣言は解除となりました。

抗体カクテル治療など治療法も開発され、2回のワクチン接種も進んで来る中でブレイクスルー感染も起こってきていることもわかってきました。手洗い、うがい、マスク着用、十分な換気、三密を避けるという感染予防の原則は変わっていません。皆様の生命と生活を守る施策、提案とより良い議会広報活動を目指します。(A・M)

◎広報委員

委員長 大羽賀 進
 委員 牧山 明
 萩原 宗仁
 梶野 寛丈

現地視察

八ッ場ダム建設工事により整備をされた道路及び公園等の現地視察を行い、整備工事の概要及び今後の管理などについて説明を受けました。

